

BJTビジネス日本語能力テストは  
2017年度より  
**CBT**方式で実施します

# CBTで、 もっと身近に、 もっと役立ちます。

## 受験しやすくなります!

### 自分のスケジュールに合わせて 受験できます

CBT試験では**実施日が大幅に増加**します。希望会場の実施スケジュールから、自分の都合に合う実施日を選んで申し込みます。

### 国内・海外とも 実施地が増えます

CBT試験では国内・海外の各地に約60会場設置します。**これまで実施していなかった地域にも会場を設置**します。

### 実施日の前日まで 受験申込を受け付けます

**実施日の前日まで、WEBで受験申込を受け付け**ます。また、試験開始の24時間前まで**キャンセルに**対応します。

### 能力を適切に測定するため 出題構成を最適化します

適切な能力測定のため、セクションごとの出題数を変更し、**全80問**としました。なお、**出題内容や問題形式に変化はありません**。

## 結果がすぐにわかります!

### テスト会場で スコアレポートを交付します

受験後すぐに、テスト会場で「**スコアレポート**」を交付します。成績認定書の発行を待たずにスコアを知ることができます。

## もっと便利になります!

### マイページで 自分の受験結果を確認できます

マイページで受験申込状況のほか、**過去のCBT受験履歴や、成績を調べる**ことが可能になります。

### 成績認定書は マイページからダウンロードできます

受験後数日で、成績認定書がダウンロードできるようになります。いつでも**必要なときにプリントアウト**できます。

CBTは、Computer Based Testingの略で、**テスト会場でコンピュータを使って出題・解答する仕組み**です。

これまでのように、問題冊子と一斉放送される音声をもとに、問題を解きマークシートに解答するのではなく、各受験者に用意された個別ブースで、コンピュータの画面に表示される問題とヘッドホンに流れる音声をもとに、画面上で解答します。

BJTビジネス日本語能力テストは、ピアソンVUEの試験配信ネットワークにより、2017年4月からCBT方式で実施します。

## 従来の方式とCBT方式との比較

	CBT方式(2017年4月～)	従来
テスト形態	Computer Based Testing ◆会場備え付けのコンピュータで出題・解答	問題冊子、解答用紙(マークシート)
出題構成	全80問	全100問
	第1部 聴解 (約45分)	第1部 聴解 (約50分)
	第2部 聴読解 (約30分)	第2部 聴読解 (約30分)
	第3部 読解 (30分)	第3部 読解 (40分)
	※従来の描写問題の一部を分離しました	
出題内容	(変更なし)	日本語の文法・語彙、ビジネス知識を前提とした、日本語によるビジネス場面への対応
受験料	(変更なし)	各国/地域による
実施日	随時 ◆会場により受験可能日時が異なります	年2回(6月および11月)
実施国・地域	国内	国内
	海外	海外
	◆その他の国・地域についても増設を検討中	
申込方法	Web	郵送、Eメール、Webなど各国/地域による
申込締切	受験希望日の前日 キャンセルは24時間前まで受付	テスト実施日の約40日前 キャンセルは不可
支払方法	クレジットカード、団体受験用「バウチャー」	銀行振込、クレジットカードなど各国/地域による
受験票	なし ◆受験に必要な情報はEメールにて案内	直接配送、ダウンロードなど各国/地域による
結果資料	スコアレポート、成績認定書	成績認定書
結果通知方法	スコアレポートを会場で受験者に交付 成績認定書は「マイページ」からダウンロード	受験者または取りまとめ団体へ郵送
結果通知時期	スコアレポート： 受験後すぐ 成績認定書： 受験後数日	成績認定書： 受験後約2か月

お問い合わせ先



公益財団法人 日本漢字能力検定協会  
〒605-0074 京都市東山区祇園町南側551番地  
URL = <http://www.kanken.or.jp/bjt/>  
E-mail = [bjt@kanken.or.jp](mailto:bjt@kanken.or.jp)

「漢検」「BJT」「BJTビジネス日本語能力テスト」は登録商標です。